



# すずかけ

令和6年10月7日

第7号

校長 鎌田 史顯

たくさん学び、成長できた

## 『全校たて割り宿泊学習』

9月18日(水)と19日(木)、今年度の「全校たて割り宿泊学習」を行いました。今年実行委員会で話し合っただけで決めたスローガンは「みんなでチャレンジ!! 協力して仲を深めよう」です。みんなの約束として「できることは自分からしよう」「自分の班でまとまって行動しよう」「みんなで助け合おう」の3つが設定されました。さらに、スローガンと約束を踏まえて、「各班ごとのめあて」や係、役割分担などを話し合っただけで、班会を重ねて準備を進めて当日を迎えました。



1日目は「入所式」「入館オリエンテーション」「スタンプラリー」「ディスクゴルフ」が計画され、16時から炊飯活動で夕食の牛丼づくりをしました。炊飯棟のかまどで薪を燃やし、大なべを2つ使ってご飯を炊き、牛丼づくりをしました。なかなか着火できずに苦労したり、火がつくとポーポーと炎があがって調整ができなかったり、炊飯の水の量で迷ったり、玉ねぎの皮をどこまで剥くのか、玉ねぎはどの大きさにどう切るのか、炒めるのか煮るのか、味付けはいつ・どうするのか、煮えたのかどうなのか…など、本当に一つ一つ迷いながら、班員で話し合い、助け合いながら取り組むことができました。

「包丁をはじめて持ちました」「まな板はどう洗うのですか?」「玉ねぎの皮は包丁でりんごみたいに剥くのですか?」「玉ねぎってどうして目が痛くなるのですか?」のように、初めての貴重な経験ができたことがわかる言葉がありました。一方で上級生からは、「米を研いたら、米の面よりも約1.5cm、手のひらで米を抑えて第2関節ぐらいまで水を入れて」「米を研いだ後はすぐに炊かず、30分ぐらい水を吸わせた方がよいから、その間に牛丼の具材を切ろう」「かまどに火をつけるには、木を上にして、下に新聞紙を入れて火をつけて、空気の通り道を作ってね」「牛丼だから、あまり水を入れすぎると、調味料の量は決まっているから味が薄くなるよ」「鍋を洗う前に残り物は捨てて、水を入れて少し待とう」など、生活経験やこれまでの学習体験をもとにしたすばらしい声がたくさん聞かれました。自然の中で、自分たちで作った牛丼もカレーも「格別なおいしさ」でした。いくつかの班の牛丼もカレーもごちそうになりましたが、班ごとに少しずつ違う味でしたし、ご飯の炊き具合やおこげのでき方もそれぞれの班の特徴がありました。

1年生から6年生まで全員が協力し合い、自分たちで様々なことを判断し、決定しながら、自然の中で学ぶ学習は、本当に価値あるもので、他では学ぶことのできないものばかりです。この経験や学びが、これからの子供たちの生活に活かされることを期待しています。



# 大郷小で10月8日（火）開催 『被爆ピアノ平和コンサート』

昭和20年8月6日の午前8時15分に、アメリカ軍原爆搭載機「B29 エノラ・ゲイ」が投下した原子爆弾は、広島の上空580mで炸裂しました。爆発時の熱線と爆風が一瞬のうちに広島を包み、爆心地周辺の地上の温度は3000～4000度に達しました。半径約2kmの建物は爆風でほとんどがなぎ倒され、ほとんどのものが焼き尽くされました。およそ14万人の方々が亡くなり、12万人以上の方が被爆者として何年も後遺症に苦しみました。

「被爆ピアノ」はこのような原爆投下の広島で奇跡的に残ったものです。爆心地から1.8kmの千田町に住んでいたある少女の家で使われていたものでした。この家も爆風で壊れ、焼け落ちてもおかしくない状況でしたが、当時には珍しいコンクリートづくりであったことや、家の向きが幸いし、屋根はなくなって天井は落ちましたが残ったのです。爆風でたたきつけられており、キズだらけでした。

矢川光則さん（被爆ピアノ管理・所有者・調律師）は、広島市内でピアノ工房を主催し、ピアノ調律の仕事をされています。矢川さんが被爆ピアノに出会ったのは2005年7月です。それまでもピアノリサイクルや壊れたピアノを修繕して寄付するなどの活動をされていた矢川さんは、「被爆したピアノの音色を多くの人に聴いてもらうことで、平和を考えるきっかけづくりができないだろうか」と考えられ、活動を続けていらっしゃいます。矢川さんのお父様も、爆心地から約800mという距離で被爆し、戦後も長く被爆者として苦しまれていたのです。

（「被爆ピアノ平和コンサート in yamagata2024」しおりより）

今年も全国の多くのところで被爆コンサートが計画されている中、大郷小学校で「被爆ピアノコンサート」を実施できることになりました。矢川さんが広島からトラックを運転して来県され、大郷小体育館に実際の被爆ピアノ設置し、子供たちに語り掛けたり、ピアニストさんの演奏による音色を聴いたり、被爆ピアノの伴奏で歌ったりできる機会をいただきました。

現代は技術革新が進み、AIやコンピュータの普及によって、人々の暮らしは豊かになっています。しかし、残念ながら、今でも世界各地で紛争や戦争が起こっており、毎日多くの人々が亡くなり、体も心も傷ついています。日本でも人を傷つける殺傷事件や強盗事件、交通事故は後を絶たず、毎日のように悲しいニュースが報道されています。被爆ピアノコンサートが、戦争や原爆について学んだり、命の尊さや自他の尊厳について再確認したり、自分の生き方を考えたりできるすばらしい機会となることを心から期待しています。



## リニューアルした大郷小 HP・閲覧数が激増

前号でご紹介しました本校ホームページですが、おかげさまで閲覧回数が急増しています。本当にありがとうございます。ボタンの左上の「お知らせ」には、学校でのさまざまなできごとや行事を掲載しております。また、トップページの写真は「全校たて割り宿泊学習」のものに更新し、「学校要覧」と「10月の行事予定」も更新いたしました。PCやタブレットでなくとも、WEB対応のスマホや携帯電話でも閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。また、ご意見等がございましたら、遠慮なく学校までご連絡をお願いいたします。

